

新年のご挨拶

誰もが穏やかな新年を迎えようとした矢先に、未曾有の令和六年能登半島地震が発生いたしました。この地震でお亡くなりになりました皆様にお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。また、一刻も早い人命救助と皆様のご健康を祈り、そして、今後の復旧復興を願うばかりであります。

さて、私事、昨年四月に栄誉ある白山市スポーツ協会会長に就任させていただきましたが、もとより浅学菲才の身でありますので、協会関係者には何かとご迷惑とご心配をおかけし、心からお詫び申し上げます。

こうした中で、この八ヶ月間、自分自身の理念として「現場主義」を掲げて、行動してまいりました。

市民スポーツ大会や県民スポーツ大会、それに関連する練習会には、できる限り激励に伺い、スポーツレクリエーション交流会にも参加してきました。市民スポーツ大会やスポレク交流会では、市民の皆様が笑顔でスポーツに親しむ姿を拝見し、大変うれしく感じるとともに、県民スポーツ大会では、白山市の大きな看板を背負い、使命感を持ちながら懸命に競技している姿に感激し、併せてこれらの活動を支え、お世話をされている競技協会や支部協会の皆様に感謝を申し上げます。

自らの活動としては、県民スポーツ大会の水泳競技に出場し、幸いにも優勝の栄を賜り、秋には、松任ロードレースをはじめ金沢マラソン、野々市じ

よんがらマラソンに出場し、白山市における市民マラソン大会のあり方について、大いに学んできたところであります。

また、「県民スポーツ大会総合優勝」という誠に大きな目標を掲げさせていただきましたが、各競技協会においては、ご理解をいただき、来年度に向けてさらなる戦力の充実を図るなど、一步ずつ前に進んでおられます。

この目標は競技力の向上やスポーツの底辺拡大にとどまらず、同じ目標に向かつて一致団結するという点において、組織の活性化には一番の方策であると考え、ひいては白山市のまちづくりに大きく貢献できるとの思いであります。どうか引き続き目標が達成されるようご協力とご支援をお願い申し上げます。

改めて今般の災害を案じながら、皆様のご健勝とご多幸、さらには、益々の白山市のスポーツ振興を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

どうか本年もよろしくお願い申し上げます。

白山市スポーツ協会 会長 山下浩雅

令和六年一月四日